

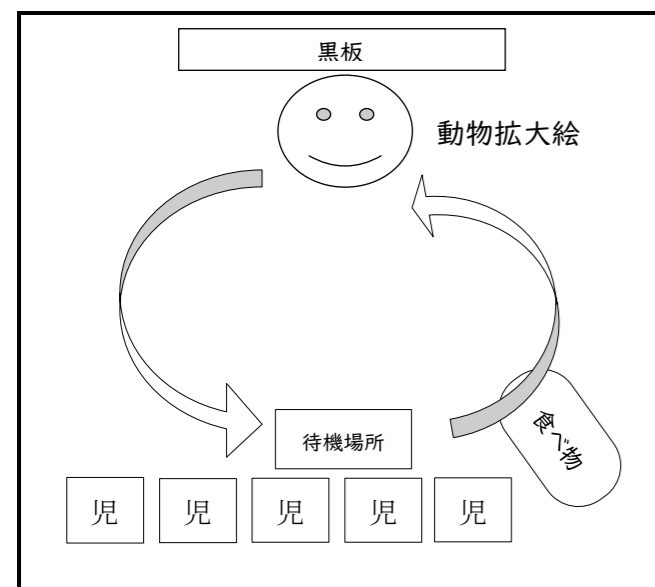
授業づくりシート

領域名 コミュニケーション

2 学年

テーマ	動物レストラン	
事例児の実態	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちや要求を周囲の大人に単語で伝えようとするができる。(人間関係の形成、コミュニケーション) ・質問にはオウム返しになることが多い。(コミュニケーション) ・大人とはコミュニケーションを取ることができるが、友達と関わろうとするはほとんどない。(人間関係の形成) ・教師の言葉かけに応じたくないときは怒ることがある。(心理的安定) 	
事例児の個別目標	<ul style="list-style-type: none"> ・集団の中で自分のやることわかり、活動することができる。(人間関係の形成) ・物を渡したり、簡単な言葉で伝えたりする活動を通して友達と関わりながら活動することができる。(人間関係の形成、コミュニケーション) 	
活動内容と具体的な手立て		
活動内容	ねらい	具体的な手立て
動物レストラン	<ul style="list-style-type: none"> ・順番がきたら自分から活動することができる。 ・友達とトレーの受け渡しを通して関わることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・初めに手本を見せて活動がわかるようにする。 ・歩くコースをトラバーで示す。 ・友達からトレーを受け取ることで自分の番がわかるようにする。 ・隣に座っていた友達に渡すように促す。わからないときは顔写真カードで知らせる。 ・渡すときには「はい、どうぞ。」と言えるように側で言葉をかける。

○場の配置



○教材教具等

- 動物拡大絵 (動物レストラン)
口を開けた動物の顔の絵を用意し口に食べ物を入れられるようにする。
- 食べ物 (動物レストラン)
食べ物の模型を用意したほか、児童の好きな食べ物のイラストや写真を箱に貼った物を用意し、自分から取ることができるようにする。

○展開

時配	活動内容	教師の支援等
9:50	初めの挨拶	<ul style="list-style-type: none"> ・動作サインを使い児童が取り組めるようにする。(T1) ・注目できない児童の側と一緒に動作サインを行い参加できるようにする。
9:51	呼名	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人に呼名し、返事やハイタッチで応答できた児童を称賛する。(T1) ・座って待つことが難しい児童や呼名に気付かない児童に言葉かけをして注目できるようにする。(T2)
9:54	動物レストラン ①ワンちゃん ②かいじゅう	<ul style="list-style-type: none"> ・教材や場の設定の準備をする。(T2) ・周回コースをトラバーで示しわかりやすくする。(T2) ・活動内容や順番を伝え、手本を示す。(T1) ・コースから外れたりやることが違ったりする児童には教師が付き添って最後までできるようにする。(T1) ・次の児童にトレーを自分から渡したり「どうぞ。」が言えそうな児童には言葉かけて促したりする。(T1) ・次の児童は椅子で座って待ち友達からトレーを受け取ることで自分の番がわかるようにする。 ・待っている児童が友達の活動の様子を見られるような配置にする。
10:05	振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・活動中、「児童の良かった姿」を紹介し、次の活動に活かせるようにする。(T1)
10:10	終わりの挨拶	<ul style="list-style-type: none"> ・全員で挨拶をする。

○成果と課題

- ・動物拡大絵や食べ物の模型を用意して場の設定をし、目的をもたせることで、活動に興味をもち自分から活動できる児童が増えた。
- ・自分の番が終わったら食べ物を運ぶために使っていたトレーを友達に渡し、待っている児童はトレーを受け取ったら自分の番だとわかるようにした。また、顔写真カードで順番を知らせることで次第に自分から顔写真カードを確認しながらトレーを渡す児童がでてきた。
- ・トレーを渡す場面で個別の目標に応じて適切な手立てを用意して児童同士の関わりが増えるように工夫できるとよかった。